

分の寢所を二人で占領して、夜具を三枚かけて寢たものは俺ればかりたろうと威張つてゐた人もゐた。ノノノノ僕も三枚かけて寢ましたよ。海岸から犬がついて来て二階へ迄も上るといふ騒ぎ、その犬が居ないといふて椽側へ出て大聲でイヌノノと呼んで居た人が居た狗を呼ぶのにイヌノノは可笑しい、モシノノも變だ、名を知らなくとも斑とか赤とか何とか呼びやうがありそうなものだ。鎌倉行の一行が藤澤で汽車から下りて江の島行の電車へ乗つた、緩々と座席を取つてゐたら跡から盛んに乗つて来る、忽ち満員だが電車は中々出ない、氣の短かい人はベルを引いて催促して居る、随分待たせるがそれでも早く来たために腰かけて居られる丈け仕合せだと、車が出ない不平はあつたが此方で慰めてゐた、スルトヤがて電車が一臺着いて、客が下りると車掌が前の車へお乗換を願ひますといふ、形勢一變遅く来て少ししか待たなくて車中に起つてゐた人が座席に着いて、早くから待ちに待つてよい座席を占めて喜んでゐた吾々が立往生、それもワルクすると満員でお次へ願ひますを食ふ處、ア、世は塞翁の馬なる哉。あとできいたらサツキの車は待合所だとさ。江の島の榮螺の小さくなつてそして不味になつたことモロコリノノ。三條さんの御邸での合作には弱りましたよ。東京へ歸る迄に屹度何か失策がありますよなんて噂をしたものだから、三條邸を出ると間もなく寫生箱の蓋が明いて、眞暗闇の中へ一切の道具を抛出して仕舞つた。それは誰？ ソレ一番元氣て一番お酒に酔つた人さ。あまり急いだからさ、そんな事言はずに手

傳つて拾つて呉れたまへ。早くしないと汽車の時間に間に合ないよ。急いた。車室乗合一人もなし正に買切と申次第で誰れに遠慮もないから耐らない、唱歌、詩吟、謠曲、歌ふものは何でもござれ、舞踏も始まる、ハイモニカも始まる、知つてゐる丈げを不殘お洩したのはゼツト通人にエム先生。手を叩いて大に景氣をつけたのは一行全體。此流車は大船で乗換ときいてゐたので急いで飛下りてブリツチにかけつけたが、車内から下りる人が少しもない、變だわいと車掌にきいたら、直行だといふ、ヤ一變と先へ往つた人呼び集め、再び元の車室へ逆戻りの體、お早く願ひますと驛夫の聲が烈しい、これが最後の失策で夫からは居眠りながら無事に新橋へ着いた、めでたしノノノ。

△ △ △  
在臺北、石川欽一郎氏の近信によれば同氏は一月下旬同氏一人の自作展覽會を開きしに非常を盛況なりしと、猶引續きて總督府國語學校官舎の一部に研究所を開きしに同好者盛んに集まり來り立錫の餘地もなき程の有様にて何れも非常の熱心を以て墨炭畫より稽古をなしつゝあり、石川氏は隨時出席し、一週一回は特に講話をなして懇篤に授業せられつゝありといふ

\* \* \* \* \*